

AV 機器(池袋)

1. 概要

貸出機器数およびサポート数ともにここ数年で最も少なかった。最大の理由は教室 PC の不具合が改善されたことにある。プロジェクター稼働率が年々増加、特に PC 利用が際立っている中で、教室 PC の接続の不具合は多いときで月 100 件を超えていた。起動するまで時間を要することや動画を再生できないために、教室に設置されているにもかかわらず、貸出利用が年々増加していた。しかし、今年度、特に後期これらの不具合が解消されたことで、貸出、サポート共に減少した。新学期開始の 4、5 月頃こそ、接続方法等の案内が多かったが、その後はトラブル等一気に減少した。

また、DVD 再生についてもフリーのメディアプレーヤーである VLC で市販の DVD も再生可能となったため、これに関する問い合わせはほとんどなくなった。

一方、録画録音依頼が増加、それに伴い DV カメラや IC レコーダーの貸し出しが増えた。特に、教室内カメラが設置されている操作卓教室の依頼増加が顕著であった。

今年度特筆すべきは遠隔講義が実施されたことである。全学共通カリキュラム主題別 B 科目で観光学部教員の強い要望を受け、池袋新座間の授業で、TV 会議システムによる双方向配信を行った。これに先立って、池袋では AB01 教室に TV 会議システムに加えてコーデックと教員撮影用カメラ、新座側学生確認モニター、エコーキャンセラーを設置した。また、新座メディアセンターと協力して、N852 教室とテスト配信し、調整を行ったうえで、授業開始となった。当初懸念されたネットワークによる障害は発生せず、映像、音声ともに臨場感のある状況が展開でき、関係者からは好評を博した。

池袋キャンパス内ではオープンキャンパス、卒業式、クリスマス礼拝、首都圏教育懇談会といった大学行事での配信依頼が増えた。また車椅子の参加者が多く、一つの教室では納まりきらない講演会での教室間配信という利用もあった。

さらに Skype を利用して 1 対多の面接や会議を行ったり、Ustream で総長と学生の対話を配信したりと、ネットワークを利用したサービスが増えた。

それまで事務システムセンターの管轄であった学内の TV 会議システムの保守管理もメディアセンターに移管された。

デジタル化が進む中で、それに対するプロジェクターやカード認証システムの障害がではじめた。スイッチャーや制御器に起因することが多いため、原因の特定が難しく、抜本的な改善を行いにくい状態である。

7 号館や 14 号館でマイク音声は切れてしまう障害は、ハウリングサプレッサーの交換で解消された。

その他プロジェクター利用率がさらに上がったため、教室によっては劣化が激しく、更新年度を待たずして交換となった。

2. 利用状況

(1). AV 機器貸出状況（表 1 および図 1、図 2 参照）

機器貸出はここ 3 年間で最も少なかった。特に PC の貸し出しが 500 件余り、DVD プレーヤーが約 90 件、プロジェクターが約 70 件減少した。

PC については導入以来続いた教室 PC のトラブルが、後期に解消されたことが大きかった。また、地デジ切り替えや教室 PC で再生できないことから貸し出しの多かった DVD プレーヤーは、教室には CPRM 再生可能なブルーレイプレーヤーを設置したこと、教室 PC で DVD 再生が可能になったことで、貸し出しは減少した。

プロジェクターはディスプレイも含めほぼ全教室で設置が完了したので、貸し出しが減少した。Skype を利用した会議や面接などを、映像投射装置のない場所で使用する際に使うことが主となっている。

一方、ビデオカメラと IC レコーダーの貸し出しは増加した。中継や配信が増えたため、需要が増したものと思える。

表ではその他に含まれるが、ワイヤレスマウスの利用が増加した。そのため、貸出用機器を期の途中で追加購入した。

	ビデオカメラ	ICレコーダー	PC	OHC	DVD	ブルーレイデスク	マイクアンプ	プロジェクター	スクリーン	その他	合計
2011年	351	171	1312	46	119	50	127	247	38	3	2464
2012年	543	136	1417	84	159	17	105	220	38	384	3103
2013年	597	185	890	39	70	3	123	155	62	252	2376

表 1 AV 機器貸出 3 期比較

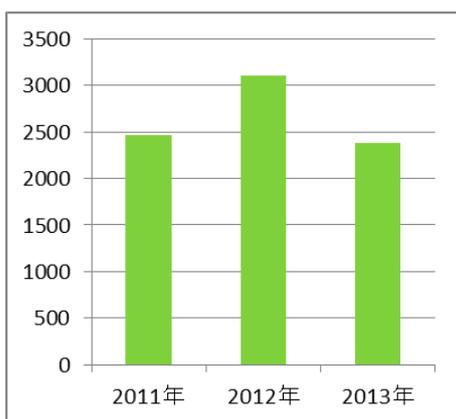


図 1 AV 機器貸出

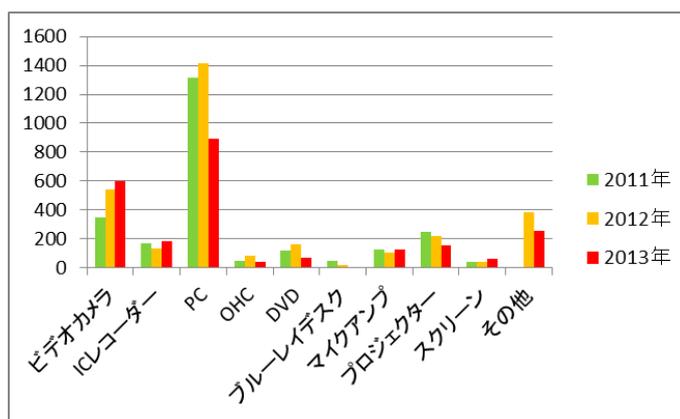


図 2 AV 機器機材別貸出

(2). サポート状況 (表 2~4 および図 3~5 参照)

サポートは全体で 400 件余り減少した。操作ミスが 200 件弱、セッティングが 170 件あまり、機器故障は 40 件あまり減少した。

AV タイプ別では軒並み減少したが、特に AV ラックでは教室 PC の無線 LAN 接続が功を奏し、利用者の接続の煩雑さが軽減されたものと考えられる。

機材別では教室 PC のサポートが約 380 件も増加している。これはトラブルではなく、タッカーホールや遠隔講義、Skype など、全面的にサポートが必要な案件での利用が多いためである。同様に中継録画が前年の倍近くになり、バックアップとしてのビデオカメラの設営も 100 件以上増加した。

	セッティング & 使用説明	トラブル (操作ミス)	トラブル (機器)	合計
2011年	1446	435	666	2547
2012年	1531	572	689	2792
2013年	1364	376	645	2385

表 2 AV サポート内容 3 期比較

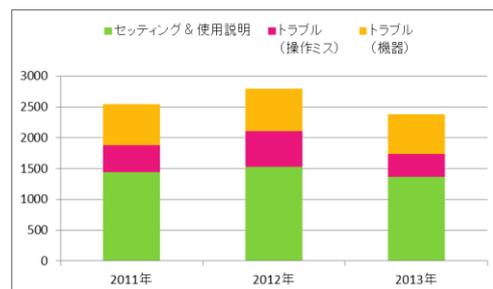


図 3 AV サポート内容別

	操作卓	簡易操作卓	AVラック	大型モニタ	PC	その他
2011年	579	120	528	441	76	618
2012年	1137	420	809	436	353	67
2013年	923	226	439	315	47	402

表 3 AV タイプ別サポート 3 期比較

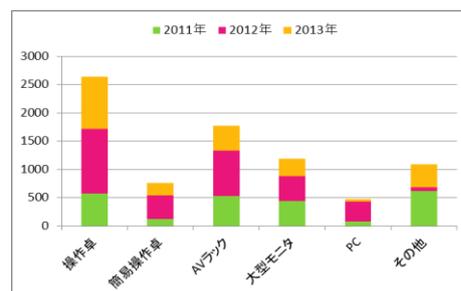


図 4 AV タイプ別サポート

	w1800	w1赤外線	有線マイク	音響	常設	貸出PC	持込PC	その他	プロジェクター	SR	ブルーレイ	DVD	VHS	OHC	電子ボード	中継録画	DVビデオ	IC	その他
2011年	106	28	95	78	116	335	209	40	387	55	106	208	71	153	16	144	354	75	0
2012年	153	48	170	136	243	219	503	35	515	61	186	185	93	150	55	159	317	57	161
2013年	96	17	92	50	620	179	171	38	515	28	90	125	57	158	26	302	429	43	202

表 4 機器別サポート 3 期比較

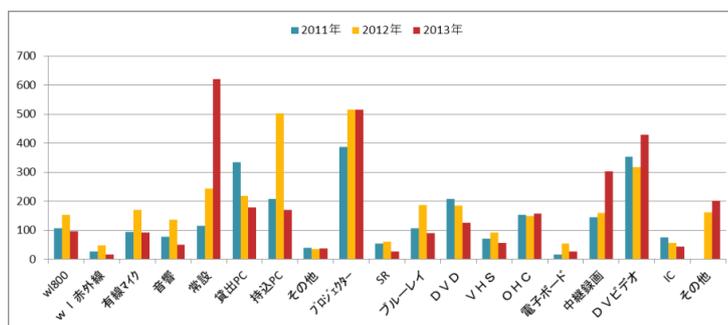


図 5 機材別サポート

(3). トラブル

① 教室 PC (表 5~7 および図 6、図 7 参照)

機器故障も操作ミスも減少した。特に PC の故障は約 320 件減少となった。

内容を見ても 2012 年に報告された主なトラブルは 2013 年ではほぼ解消されたといえよう。残る問題は、PC をプロジェクターやディスプレイに映す時の RGB ケーブル接続である。今後、RGB がなくなった場合にも、どう対応していくかが課題となる。

	PC以外の 操作ミス	PCの操作ミス	PC以外の 機器故障	PCの故障
2012年	344	199	689	463
2013年	255	168	535	140

表 5 トラブル対応 2 期比較

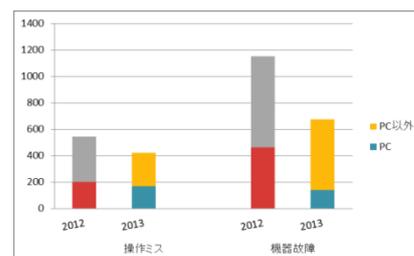


図 6 トラブル対応 2 期比較

	起動しない	起動が遅い	電源抜け・ ケーブル抜け	断線	動画・DVD 再生	投影できない	シャットダウン できない	シャットダウン する	USB問題	フリーズ	音	その他のPC トラブル	画面異常	計
2013年前期	16	4	11	3	6	16	2	3	13	3	0	8	2	87
2013年後期	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	4	5	12

表 6 2013 年度教室 PC トラブル内容

教室PC 操作ミス	RGB未接続ま たは誤接続順	LAN未接続ま たは誤接続順	セレクター誤 選択	ID.PW忘れ	音関係	USB関係	PJ電源未投 入	PC電源未 投入	その他	計
2013年前期	44	9	17	11	1	2	6	15	—	105
2013年後期	11	3	0	0	1	2	0	0	7	24

表 7 2013 年度教室 PC 操作ミス内容

② 教室 PC 以外 (表 8 および図 7 参照)

PC 以外でのトラブルでは機器故障は大幅に減少した。一方で RGB や LAN ケーブルの破損が増えた。また、スイッチャーや制御器に起因すると思われるが、連続して起こらず、再現もしないために原因が特定できない事象は増加した。

- a. 8201、8202 教室プロジェクターは、8201 教室のほうは黄変、8202 教室のほうは起動しなくなった。どちらも改修にはあと 1 年を残していたが、本体の修理費が高額となるため、更新時期を前に入れ替えた。
また、太刀川 3 階多目的ホールのプロジェクターも黄変から画面全体の染みとなったため、こちらは部品交換を行った。個体差はあるが、今後ランプ交換の費用などを勘案すると、7 年周期は検討を要することになる。
- b. 本館プロジェクターが起動時にフリーズする現象が散発した。電源再起動で回復するので、大きな支障はないが、原因を究明中である。

- c. カード認証システムで一番最初(2008年9月)に導入した docomo 社製のタッチパネルがフリーズして IC カードを読み取らない状況が散発した。電源再投入で回復するが、抜本的な解決はまだ見られない。
- d. A101 教室 (模擬法廷) のカメラがコントロール不能となった。2004 年の 11 号館建設時から改修されていないため、経年劣化とみられる。次年度に改修することとなった。
- e. スクリーン不良につき以下の教室はメーカーによる交換が行われた。
(X209、5224、D602 各教室)
- f. スイッチャーや制御系の障害で、以下の教室で映像がスクリーンに投影されなかった。メーカー修理にて回復した。
(タッカーホール、7101、8304、D201 各教室)
- g. 6 号館に導入されたポケットサイズのモバイル OHC はマイクロ HDMI 入力端子の破損が散発した。その部分の交換で回復はしているが、教室での使用は少々乱暴に扱われる可能性があるため、同様の障害は出そうである。
- h. 昨年から導入されたカード認証型の AV ラックで、システムとプロジェクターの起動が連動しない障害が散発している。制御系の不具合とみられるが、原因は特定できていない。

機器トラブル	機器故障	調節で治る	電源抜け・電池切れ	断線・爪折れ・破損	再現なし・リセットで復元	紛失他
2012年	328	72	159	27	103	0
2013年	180	45	96	100	135	16

表 8 機器トラブル 2 期比較

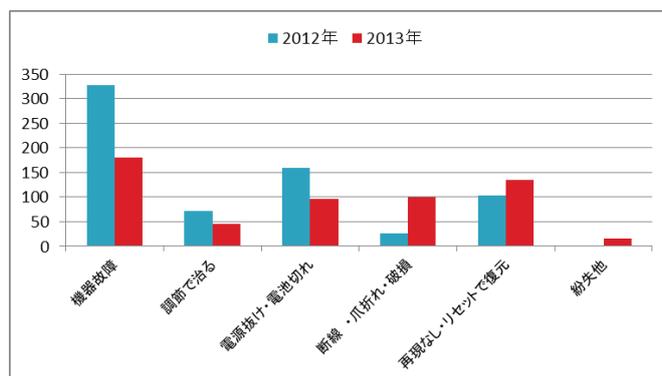


図 7 トラブル内容 2 期比較

(4). プロジェクター利用率 (表9 および図8)

プロジェクター稼働率は年々増加しているが、今期も増加した。例年同様、上位は8号館をはじめとする操作卓が圧倒的に多い。

2012年前期('12/4/1-9/30)				2012年後期('12/10/1-'13/3/31)				2013年前期('13/4/1-9/30)				2013年後期('13/10/1-'14/3/31)			
順位	教室	タイプ	稼働時間(H)	順位	教室	タイプ	稼働時間(H)	順位	教室	タイプ	稼働時間(H)	順位	教室	タイプ	稼働時間(H)
1	8101	操	648	1	AB01	操	593	1	8303	操	756	1	8303	操	617
2	7102	操	586	2	8101	操	555	2	8101	操	717	2	8101	操	608
3	7101	操	559	3	9000	操	544	3	8304	操	707	3	D201	操	558
4	MB01	操	556	4	8201	操	531	4	AB01	操	668	4	7102	操	555
5	8201	操	553	5	A201	簡	523	5	8202	操	653	5	AB01	操	544
6	D201	操	537	6	7101	操	522	6	7101	操	630	6	8202	操	533
7	8303	操	533	7	4402	操	504	7	A202	簡	624	7	7101	操	523
8	4402	操	527	8	MB01	操	488	8	D201	操	612	8	8304	操	503
9	8202	操	517	9	7102	操	481	9	MB01	操	592	9	5121	操	495
10	D301	操	510	10	D302	簡	452	10	7102	操	585	10	9000	操	482
11	D601	AV	477	11	8303	操	439	11	9000	操	527	11	8201	操	478
12	4403	簡	475	12	5123	操	431	12	4402	操	512	12	4402	操	474
13	D402	簡	452	13	D301	操	423	13	4404	簡	494	13	A202	簡	472
14	5123	操	445	14	A202	簡	413	14	8201	操	488	14	MB01	操	454
15	M201	操	432	14	8202	操	413	15	1201	簡	484	15	M201	操	415
16	AB01	操	429	16	8304	操	408	15	M201	操	484	16	5122	操	413
17	5304	AV	428	17	M201	操	392	17	5122	操	478	17	4404	簡	408
18	9000	操	419	18	D402	簡	379	18	D502	簡	467	18	4151	AV	398
19	8304	操	417	18	1201	簡	379	19	A201	簡	462	19	4403	簡	394
20	A201	簡	414	20	D601	AV	378	20	4403	簡	451	20	D301	操	384
20	D603	AV	414					20	M301	操	451				
総稼働時間			40,799	総稼働時間			35,944	総稼働時間			45,043	総稼働時間			38,217

表9 プロジェクター稼働率4半期比較

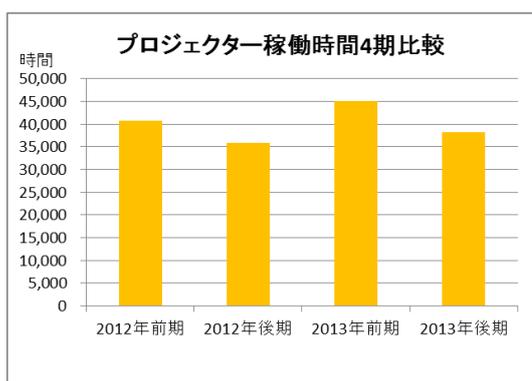


図8 プロジェクター稼働時間比較

(5). ダビング (表 10～12 および図 9～11)

全体で約 140 件増加した。特に中継録画が約 100 件、IC レコーダーの録音が 40 件と大幅に増加した。一方でミニ DV テープ、VHS、カセットテープといったアナログメディアはほぼなくなりつつある。

変換形式は映像は DVD-Video、音声は MP3 が主となっている。Mac 利用者の希望で MOV も多かった。

	HDDDV カメラ	中継	HDD 保存	DVテープ	DVD	VHS	IC レコーダー	CD	カセット テープ	T V	その他	合計
2011年	140	72		33	33	44	33	24	9	16	34	438
2012年	84	127	27	97	26	24	54	15	0	14	7	475
2013年	143	214	25	38	35	19	92	20	0	9	19	614

表 10 ダビング受付元 3 期比較

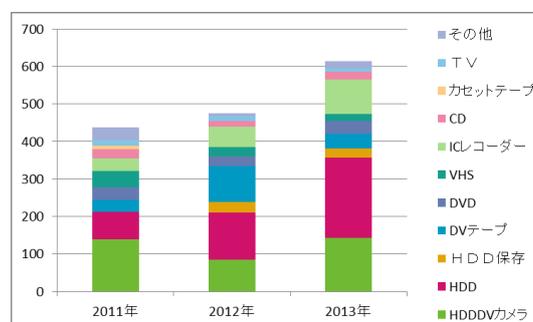


図 9 ダビング受付元 3 期比較

	DVD-Video	DVD-VR	MPEG4	MPEG2	WMV	CDA	WAV	WMA	MP3	MOV
2011年	760	24	127	62	248	197	235	73	19	15
2012年	768	62	25	83	346	253	174	167	46	0
2013年	909	19	8	45	51	217	11	21	105	105

表 11 ダビング変換形式 3 期比較

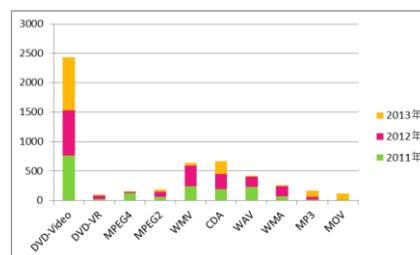


図 10 ダビング変換形式 3 期比較

	DVD-R	CD-R	その他	合計
2011年	914	536	20	1470
2012年	874	451	45	1370
2013年	1048	355	99	1502

表 12 ダビング変換工数

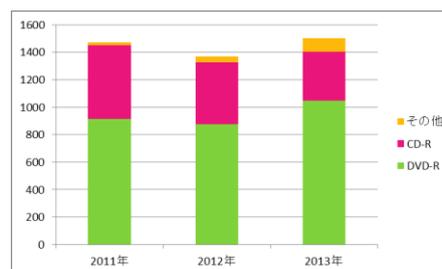


図 11 ダビング変換数 3 期比較

(6). 特別サポート (表 13 参照)

月日	場所	カテゴリー	イベント名	依頼者	主なサポート内容
4月1日(月)	28教室	大学行事	学生証交付	教務事務センター	プロジェクター起動、OHCで座席表を投影
4月2日(火)	タッカーホール→8201、8202	大学行事	新規登録ガイダンス	社会教育講座	中継
4月3日(水)	チャペル→1202	大学行事	独立研究科入学式	独研事務局	中継
4月10日(水)	チャペル→旧図書館	大学行事	礼拝堂音響設備移設	チャペル	チャペル工事のため一時礼拝堂を仮設置
5月18日(土)					
6月1日(土)	タッカーホール	大学行事	首都圏教育懇談会	総長室 教学連携課	録音
6月29日(土)					
10月26日(土)					
7月6日(土)	タッカーホール	大学行事	スクールフォーラム	渉外課	プロジェクター、マイク設置他
7月26日(金)	チャペル会館	大学行事	チャペル会館竣工	総務課	音響一式
8月1日(木)~	AB01→MB01	大学行事	オープンキャンパス	入学センター	中継
8月3日(土)	8101→8303→8304	大学行事		総務課	マイク設置
9月23日(月)	タッカーホール	大学行事	9月特別卒業式	総務課	ディスプレイにDVDエンドレス再生他
10月19日(土)	11号館ロビー	大学行事	ホームカミングデー	総長室 教学連携課	
10月29日(火)~	8201→N852	大学行事	赤レンガ講座	総長室 教学連携課	中継
11月1日(金)~	学内	大学行事	SPF	学生部	機器貸出、使用説明
11月3日(日)					
11月25日(月)	8101	大学行事	総長選立会演説会	総務課	PC接続
11月30日(土)	D301	大学行事	大柴杯	ランゲージセンター	録音
12月3日(火)	本館前	大学行事	イルミネーション点灯式	学生部	音響
1月21日(火)	マキム門付近	大学行事	植樹式	総務課	マイク他音響
2月4日(火)	AB01⇄N852	大学行事	ケント州立大学留学プログラム説明会	国際センター	配信
3月25日(火)	タッカーホール	大学行事	大学院卒業式	総務課	マイク、ICレコーダー録音
3月24日(月)					
3月25日(火)	タッカーホール→8号館	大学行事	卒業式	総長室 教学連携課	中継、マイク設置
4月1日(月)	28教室	試験	プレテスト	全カリ事務局	CDラジカセのライン入力
4月15日(土)	7教室	試験	英語単位認定試験	教務事務センター	CD作成とCDラジカセのライン入力
7月22日(月)~	43教室	試験	2013年度前期末試験	教務事務センター	マイク設置他
7月31日(水)					
7月30日(火)	8教室	試験	2013年度前期末 中国語統一試験	教務事務センター	CDラジカセのライン入力
11月23日(土)	5教室	試験	英語単位認定試験	教務事務センター	CD作成とCDラジカセのライン入力
11月16日(土)					
11月17日(日)	18教室	試験	秋季入試	学生部	マイク設置
12月7日(土)	28教室	試験	英語伸長度測定テスト	全カリ事務局	CDラジカセのライン入力
1月25日(土)~	43教室	試験	2013年度後期末・学年末試験	教務事務センター	マイク設置他
2月4日(火)					
2月1日(土)	8教室	試験	2013年度後期末・学年末 中国語統一試験	教務事務センター	CDラジカセのライン入力
2月5日(水)~	46教室	試験、大学行事	入学試験	学生部	マイク設置他、待機
2月14日(金)				入学センター	
6月6日(水)~	録音室	試験	ドイツ語リスニングテストCD作成	ランゲージセンター	録音、編集
6月3日(水)~	録音室	試験	中国語リスニングテストCD作成	ランゲージセンター	録音、編集
7月3日(水)~	録音室	試験	中国語リスニングテストCD作成	ランゲージセンター	録音、編集
9月24日(火)~	AB01 9000	授業	文学部「職業と人文学」	学部事務1課	中継録音
4月16日(火)~	タッカーホール他	授業	BLP合同授業	経営学部	録音、同通プロジェクター設置
4月29日(月)~	7B棟、6号館	授業	Teacher Observation1st	英語ディスカッション教育センター	録音
5月31日(金)					
10月3日(木)~	7B棟、6号館	授業	Teacher Observation2nd	英語ディスカッション教育センター	録音
12月6日(金)					
前期全14回	4340	授業	基礎物理学 前期「ラジカルアービタビリティの世界」 後期「観光におけるビジネスアセットメント」	理学部 全カリ	板書プロデューサー 双方向配信 中継録音
通年全28回	AB01	授業			
7月30日(火)~	学外	その他	OBOG訪問ビデオレター	キャリアセンター	ビデオ録音編集
7月30日(火)~					
7月5日(金)他	第1食堂前他	サークル、学生活動	ヨシオカフェ	広報課	Ustream配信、マイク他音響
12月6日(金)	礼拝堂→チャペル会館	サークル、学生活動	ハンドベル・クワイア コンサート	大学チャペル室事務局	中継、録音
12月16日(月)	西口公園	サークル、学生活動	キャロリング	学生部	音響
1月11日(土)	タッカーホール→9000	サークル、学生活動	体育会総会	学生部	中継
10月9日(水)~	図書館講習会室	その他	図書館講習会	図書館	録音
11月28日(木)~	図書館ラーニングスクエア	その他	講演会	図書館	プロジェクター、音響設置
4月30日(火)~	8101、11号館	講演会、シンポジウム	国際シンポジウム	異文化コミュニケーション学部	同時通訳
5月3日(火)~	M301→A303	講演会、シンポジウム	社会福祉のフロンティア	総合研究センター	中継
6月12日(水)					
6月15日(土)	5123 D201	講演会、シンポジウム	アジア政経学会設立 60周年シンポジウム	法学部	録音、同通
6月27日(木)	9000	講演会、シンポジウム	ファルーク・アームル駐日 バキスタン大使講演会	総長室	マイク設置他
7月1日(月)	タッカーホール	講演会、シンポジウム	経済学部講演会 「イモトアヤコ氏講演会」	学部事務2課	プロジェクター、マイク設置他
7月12日(金)~	太刀川3F⇄ 新座7号館2F会議室	講演会、シンポジウム	公開講演会	学生相談室	配信
7月17日(水)	A203	講演会、シンポジウム	経済学部講演会 「関口宏氏講演会」	学部事務2課	中継録音、プロジェクター、マイク設置他
9月14日(土)	タッカーホール	講演会、シンポジウム	国際シンポジウム「アジア女性ビジネスリーダーミーティング2013」	法学部	録音、同通
9月17日(火)~	7102	講演会、シンポジウム	ホスピタリティ・マネジメント講座	観光研究所	録音
11月20日(水)	タッカーホール	講演会、シンポジウム	官学連携プロジェクト シンポジウム	学部事務2課	マイク設置他
12月7日(土)	太刀川多目的ホール	講演会、シンポジウム	ボランティアセンター設立10周年記念 シンポジウム	ボランティアセンター	録音
1月11日(土)	7102	講演会、シンポジウム	50周年記念講演会	ラテンアメリカ研究所	同通
1月24日(金)	太刀川3F⇄N852	講演会、シンポジウム	教学PR関連プログラムテスト	大学教育開発支援センター	配信
3月4日(火)	タッカーホール	講演会、シンポジウム	社会イノベーター公志園下見	21世紀社会デザイン研究科	
3月7日(金)	録音室	講演会、シンポジウム	世界聖公会大学連盟大会用 イベント	国際センター	ビデオ録音編集
3月8日(土)	AB01	講演会、シンポジウム	社会福祉研究所主催ケア実践フォーラム	社会福祉研究所主催ケア実践フォーラム	中継録音
その他		講演会、シンポジウム	独立研究科主催公開講演会	独立研究所事務局	中継録音
その他		講演会、シンポジウム	最終講義	各学部事務局	録音
その他		講演会、シンポジウム	各総合研究所主催 公開講演会	各総合研究所	中継録音

表 13 2013年度特別サポート (一部抜粋)

(7). 特記事項

① 遠隔講義 (図 12、図 13 参照)

前年度、文学部の依頼を受けて、AB01 教室と 9 号館大教室の間の双方向配信授業を行った。この時の経験を踏まえ、今回は新座との双方向配信を行った。システム構築にあたっては新座メディアセンターと検証の上、同じメーカー (Panasonic) の TV 会議システムを導入することになった。AB01 教室には 2 台のシステムを設置、一つはカメラ映像を、もう一つは資料映像を配信することとなった。また、講師を撮る旋回型のカメラを現在の常設カメラに並べて増設した。音声はエコーキャンセラーを取り付け、新座との再三わたる調整を行った。講師撮影用カメラはノート PC とコントローラーで操作、学生撮影用はハンディカメラを前方に毎回設置した。カメラ映像の切り替えはリモコンで行った。

当初、操作は全面的に MC のスタッフが行ったが、回を重ねて、授業の TA が行えるようになった。但し、カメラ設営等の準備は MC で少なくとも 30 分は時間を要した。映像は HD 画質で教室が明るくても鮮明で、音声は臨場感のあるクリアな音質を提供できたことで、依頼者の期待に応えるダイナミックな授業が展開できた。また、通信事情は極めて安定しており、開講期間ネットワークによるトラブルは 1 回も発生しなかった。

好評を博し、次年度も引き続きこの形態で授業を行うことになった。



図 12 遠隔講義(池袋)



図 13 遠隔講義(新座)

② 授業収録配信システム (Mediasite) の導入 (表 14 参照)

今回、Mediasite 導入にあたり、2 月はサーバーの構築、3 月はハードの設置とテストを行った。実際の運用は次年度からとなる。

月日	経過
1 月 31 日 (金)	導入打合せ
2 月	サーバー構築
3 月 12 日 (水)	8 号館 4 階教材準備室に据え置き型設置
3 月 13 日 (木)	8101 教室にてテスト
3 月 14 日 (金)	Blackboard 連携 Building Block テスト環境への適用
3 月 14 日 (金)	持ち運び型テスト

3月25日（火）	卒業式で据え置き型テスト
3月27日（木）	導入業者による取扱説明

表 14 2013 年度 Mediasite 導入スケジュール

3. 2013 年度のまとめ

教室 PC の障害が改善されたことで、サポート、貸し出しともに減少し、利用者にはより快適なサービスを提供できるようになった。

利用者側も 2011 年に地デジに切り替わった頃は、教室で再生できない DVD の持ち込みや、動画の再生などで混乱が生じたが、ほぼ落ち着いた感がある。ダビング依頼にしても、再生できないメディアを持ち込まれることは少なくなった。

日常の点検を強化したこともあって、授業利用ではほとんどトラブルは起きず、快適な状況を保持できている。

一方でアナログからデジタルへの機器の移行に伴い、これまで予想しなかった障害が発生し、これが解消されるまで原因を特定することが困難になった。

今後一つ一つの経験をもとに、機器の構築を再考していく必要がある。

サポートでは TV 会議、Skype、Ustream など様々な形で中継録画、配信の依頼が急増している。以前はそういったことは講演会等イベントに限られたが、授業等での利用も活発になり、利用者の要求にこたえるべく様々な機器サポートを行っている。今年度末に導入した Mediasite の運用実績は次年度に譲るが、すでに多くの依頼にこたえている。

デジタル化が進む中で、試験は従来のアナログ機器が重用され、定期試験、入学試験、プレイスメントテストなど CD ラジカセを用いてのサポートが信頼を得ている。

遠隔講義は昨年からの実施となったが、実は 2007 年からメディアセンターではその構想をもって、一部機器は構築されていた。しかし、なかなか理解は得られず利用には結びつかなかったのが、ここにきて時代の進化とともに日の目を見ることとなった。これまで細々と試行錯誤してきたことが無駄にはならず、経験となって今に結び付いてきたことは喜ばしい。ハードウェアは高額なため、そう簡単に交換はできないが、それゆえ一層、利用者のニーズ、大学としての需要、時代の流れ等をよみつつ、機器の構築、保守をも含めたサービスを実施していきたい。